

三重短大 橋本貴美子
伊藤 五子
三浦とき子

1 ステンカラー製図の一方法として、身頃型紙をもとにして製図する方法がある。本報はこの製図法における、

(1) 前衿こし寸法と後衿こし寸法の関係

(2) 表衿幅、前衿こし寸法、後衿こし寸法とねかし寸法との関係

以上の二点について明らかにすることを目的とし、併せて第2報のステンカラーと比較を試みた。

2 婦人用標準中寸法の型紙を用い、衿幅、ねかし、前衿こし、後衿こしについて種々の寸法によって製図し之を実物製作し、その結果を測定して適当な寸法を見出した。

3 (1)前衿こし寸法と後衿し寸法の関係は、後衿こし寸法の方が 0.5 cm 位多い場合が落着きがよい。すなわち前衿こし 2.0 cm に対して後衿こし 2.5 cm 又は前衿こし 2.5 cm に対して後衿こし 3.0 cm 等の場合がよい。

(2)ねかし寸法は(表衿幅-後衿こし寸法+1.5cm)位が適当である。以上のような結論を得た。